

（みどりの杜病院入院対象となる患者様）

がんが診断された方で、患者様及びご家族がホスピスケアの主旨を理解されていることが必要です。（告知は必ずしも必要ではありません）在宅療養が一時的に難しくなった方や疼痛の緩和治療を考えている方、また、在宅でケアしているご家族の精神的疲労の軽減（家族のレスパイト目的）としても利用できます。

※見学（無料）も受付しております。

まずお電話にてご予約をお願いいたします。

※面談の際は面談料を頂いております。



（入院までのながれ）

①相談窓口へのお電話
まずは（0943-23-1700）にお電話ください。
相談員が対応いたします。



②面談の予約
相談内容を確認し、
面談の予約を承ります。

③相談員・医師面談
紹介病院からの紹介状を
持参して頂き相談員・医師
の面談を行います。



④入院判定会議
入院の可否について検討し、
ご連絡いたします。



⑤入院
入院日程調整後、
入院の運びとなります。

みどりの杜病院広報誌

風MIDORI

～かざみどり～



R.7

3

vol.40



ドッグセラピーボランティア（ANZUちゃん）

四季のこぼれ話し

シクラメンの夏越しに挑戦

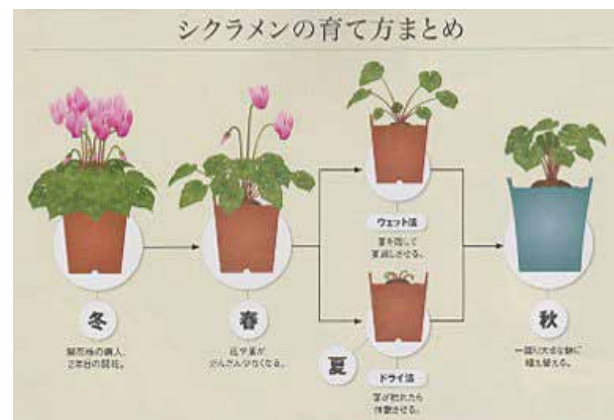
初級園芸福祉士 吉田和三

シクラメンの夏越しは、そんなに難しくはありません。3月、4月まで花は続きますから、花が終わったら「お疲れさまでした」と、肥料を与えてください。普通に持っている花の肥料で十分です。それに草木灰（カリウム）を少し加えてください。花を咲かせ続けた為、疲労しています。それを回復させるのです。活力剤を与えるのもいいでしょう。

夏の置き場所は、風通しの良い半日陰の場所です。

例えば、木の下の日陰、家の北東で午前中に日陰になる場所などです。夏越しには、ウェット法とドライ法があります。葉を付けたウェット法は水を与え、葉のないドライ法は水を与えません。10月になれば新芽が動き出しますから、通常の管理となります。ガーデンシクラメンの夏越しは比較的に簡単ですので挑戦してみましょう。

シクラメンの育て方まとめ



みどりの杜病院では園芸ボランティアを募集しています。

病院理念の「私たちは、あなたと家族が、今という大切なときを自分らしく生きることに寄り添います。」をモットーに活動をしています。ボランティア活動しながら園芸知識を高めることが出来ます。ボランティアと園芸に関心のある方は、是非、ご参加ください。

編集後記

広報委員となり2年目を迎えましたが、今号も原稿締め切りの日から解放されてほっとしています。いつも原稿締め切りや広報誌発行が遅れないか、広報委員みんなでひやひやしながら作り上げています。広報誌は、地域の皆様に、もっと言えば世界中の皆様にも見ていただけるようみどりの杜病院のホームページにも載せています。そして、みどりの杜病院はどんなところかご存じない方や既にご存じの方にも病院の日常や雰囲気を少しでも知っていただけるように、ホームページやSNS（InstagramやFacebook）を適宜更新しておりますので、そちらもご覧いただくと幸いです。

これからも『風MIDORI』を通じて、日々様子を伝え、読まれた方が笑顔になれる広報誌を目指していきたいと思ひます。E.A

病院理念 私たちは、あなたと家族が、
今という大切なときを自分らしく生きることに寄り添います。

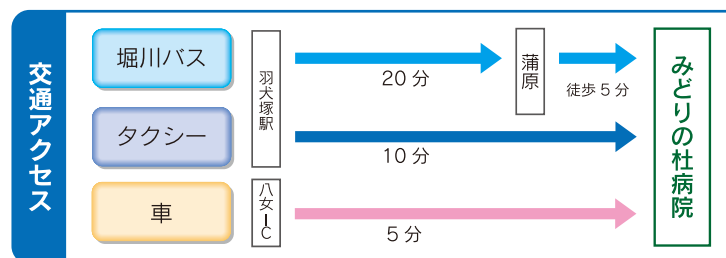
行動指針

患者や家族との関わりを、
その出会いから大切にします。

患者や家族の
生活空間に配慮します。

緩和ケアが普及し
発展することを目指します。

地域の方々が安心して過ごせる
社会をつくりまします。



ホームページ、フェイスブックを検索！

みどりの杜病院



検索

ホームページ <http://www.yame-midori.jp>

フェイスブック <http://www.facebook.com/midorinomori.yame>



公立八女総合病院企業団

みどりの杜病院
MIDORI NO MORI
PALLIATIVE CARE & HOSPICE

〒834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

TEL 0943-23-0002 FAX 0943-23-0012

相談専用ダイヤル 0943-23-1700

スタッフ紹介

看護科 河村 郁美



私は、2024年9月に公立八女総合病院から異動してきました。

みどりの杜病院は、八女の自然に囲まれ、のどかな田園風景の中にあります。ボランティアさんがお世話してくださっているお庭や花壇の花に、季節の移り変わりを感じることができます。また、患者さんの体調が良い時には、庭へ散歩に行き花を摘んで部屋に飾ることができ、急性期病院とは違いゆっくりとした時間が流れています。

ラウンジでは、様々な催し物が行われており、楽器の音色や美しい歌声に癒されながらお仕事をさせていただいています。患者さんの多くは、体のつらさだけでなく、心のつらさも抱えていらっしゃると思います。そのようなつらさを少しでも和らげ、最後までその人らしく過ごすことができるようにお世話をさせていただいています。日々の関わりや対話する中で患者さん、ご家族の思いや願いを理解し、寄り添える存在でありたいと心がけています。患者さん、ご家族が安心して穏やかな時間を過ごして頂けるよう、スタッフの一員として努めていきたいと思っております。

イベント紹介

クリスマス会
2024.12.24～25

今年のクリスマス会は2日にわたっての開催となりました。1日目はプロのピアノニスト畑瀬さんと生徒さんとの連弾、2日目は久留米信愛中学校・高等学校の合唱団の皆さんが5年ぶりに歌いに来てくれました。院内に素敵な音色や歌声が響き渡り、大変豪華な会となりました。患者さんは聴き入りながら、感動して涙を流されていました。そしてサンタがお菓子のプレゼントを配り、患者さんは嬉しそうに笑顔で写真撮影をされました。



新年餅つき大会
2025.1.9

毎年恒例の餅つきですが、石臼でつく餅つきは珍しいようでラウンジには多くの患者さんが集まりました。お好みでぜんざいやきな粉や醤油餅にして召し上がられ、「つきたて餅はおいしか〜」とたくさんの笑顔がこぼれました。ふわふわのお餅で、本当に美味しかったです。



節分豆まき
2025.2.3

今年も大豆・甘納豆・チョコを混ぜ合わせた豆まきをしました。鬼のお面をみて笑顔がこぼれ楽しめました。



ボランティア紹介

傾聴ボランティア 内田 英子



熊本市からみどりの杜病院ボランティアに参加しています。車で2時間程かかりますが、豊かな時を味わっています。どんなご縁があったのかお話をさせてください。2015年だったと思います。心と魂のケアドイツホスピス研修に参加しました。スピリチュアルケア（心へのケア）・痛み・叫び・苦しみの意味・生きる目的は・どうして・何故・答えの見つからない問いに誰が寄り添うのか？その叫びに心を傾けて聴いてくれる専門家を育てるドイツ研修旅行に、みどりの杜病院からも1人の医師が参加されていました。この研修旅行がご縁でみどりの杜病院ボランティア活動がはじまりました。ドイツのボランティア活動で印象に残ったことがあります。こどもホスピス、エイズホスピス、在宅ケアホスピス、病院、施設、どこでもチームケアの一員としてスピリチュアルケアワーカーが配置されていました。ボランティアは医療チームが働きやすいように活動を支えている。社会貢献としての役割意識が高く、チームの中にボランティアが必ず配置され全体を支えていると感じました。名誉ある役職であると受け取りました。自分も何時か誰かに支えてもらってもいい、信頼関係のような、自分の少しの時間を他者の為に使う、そしていつか自分も…、とても自然に心地良く身についているようにこの研修で感じました。人生の時間の使い方がとても豊かで感動しました。

みどりの杜に来る日は特別な時間です。いつもの慌ただしい時から、静かな空気 自然の移ろいや風ゆったりとした内面を意識します。出会う方のこころの声が聴こえますように。病気であっても生きてこられた人生に希望・意味が発見できる出会いがありますように。今日はどんな出会いがあるのでしょうか…。期待とドキドキしながらドアをノックします。出会いにありがとうございます。

春の味覚を
楽しみましょう

春の訪れとともに、食卓にも彩りを添えたい季節ですね。
今回は、旬の春野菜を使った簡単でおいしいレシピをご紹介します。
春の恵みを存分に楽しんでください！

鶏肉と菜の花の春香る
ガーリックバターパスタ



材料2人分

パスタ(1.4mm) … 160g
鶏もも肉 … 150g
菜の花 … 1/2束(約100g)
新玉ねぎ … 1/2個(約100g)
ミニトマト … 4個
にんにく … 1片(みじん切り)
オリーブオイル … 大さじ1
白ワイン … 大さじ1
バター … 10g
塩 … 小さじ1/2(約0.5g)
こしょう … 少々
醤油 … 小さじ1

①下準備

・菜の花は根元を少し切り落とし、長さを半分にする。新玉ねぎは薄切りにする。
・鶏もも肉は1口大に切り、軽く塩・黒コショウをふる。にんにくはみじん切りにする。ミニトマトは半分に切る。

②パスタをゆでる

・たっぷりの湯に塩(分量外)を少なめに入れパスタを茹でる。茹で時間の1分前に菜の花を加えて一緒に茹で、ザルに上げる。

③具材を炒める

・フライパンにオリーブオイルとにんにくをいれて弱火で加熱し、香りが立ったら鶏肉を加えて中火で炒める。
・鶏肉に焼き色がついたら、新玉ねぎとミニトマトを加え、白ワインを回しかけて軽く蒸し焼きにする。

④仕上げ

・ゆであがったパスタと菜の花をフライパンに加え、塩こしょう・醤油を加えて全体を絡める。

⑤盛り付け

・皿に盛りつけて完成

ホスピス緩和ケア週間の報告

2024年11月16日に当院にてイベントを開催し、20名の方が参加されました。5年ぶりの院内での開催となり、「緩和ケアって何だろう」と題して緩和ケアや、当院ボランティアの紹介、役割についての説明と院内見学を行いました。講話の終了時にはボランティアが奏でるラブフルートの音色が皆を優しく癒してくれました。アンケートでは、「ホスピスの暗い、悲しいイメージが変わりました」「お世話になりたいと思いました」との嬉しい意見がありました。見学終了後にボランティアさん手作りのバルーンアートをお持ち帰りいただきました。

